



愛知生まれのカンキツ「夕焼け姫」を市民へPR

知多農林水産事務所

東海市が産地化を進めている「夕焼け姫」の出荷が今年度から始まることから、2024年11月3日（日）に「東海秋まつり 2024」内で開催された「農業フェスティバル」において、PRブースが設置され、市民へのお披露目と試食会が開催されました。

1 東海市における「夕焼け姫」の取組

「夕焼け姫」は愛知県が育成した品種で、夕焼けのような赤橙色の美しい外観と甘みが強くほどよい酸味が特徴です。古くからみかん生産が盛んな東海市では、「夕焼け姫」の苗木の供給が開始されると同時に作付けを始めました。令和2年には「マルチ栽培夕焼け姫部会」が発足、東海市立農業センターにおいても試験栽培が始まり、新たな特産品として産地化・ブランド化へ向けた取組が行われています。苗木やマルチシート等の購入補助など、市を挙げて「夕焼け姫」の産地化に乗り出しており、試験ほ場近くの船島小学校では授業の一環として、同校児童による栽培管理、収穫作業等が行われています。

また、東海市は県の「夕焼け姫」ブランド化チーム構成員でもあり、シンボルマークやPRグッズを活用したプロモーションにも力を入れています。



開始直後から行列のPRブース



夕焼け姫の特徴を説明

2 試食会における「夕焼け姫」への期待と反応

当日、PRブースは開始直後から行列となり、市担当者、生産者、県農業改良普及課担当者が、「夕焼け姫」の特徴、市を挙げてのブランド化への取組などを説明しました。また、多くの人に従来品種との違いを試食で実感してもらい、「濃厚で美味」であるとの感想をいただきました。「どこで買えるのか」「箱買いしたい」「贈答用にしたい」といった声も多く、舌の肥えたみかん産地の市民からも期待されていることを実感しました。

3 今後の取組等

「夕焼け姫」は11月中旬から下旬に収穫と出荷の最盛期を迎えます。

今年度は産直販売が中心の見込みですが、生産量が増える来年度には市場出荷が本格化し、量販店へも出回る予定です。